

# MADONNA

St.Mary's College Campus Letter \_\_\_\_\_ 聖マリア学院大学キャンパスレター [マドンナ] Vol.13



## 巻頭言

「日本の“医療”と“看護”のこれから」…………… 1

シリーズ⑬「大学に求められるもの」…………… 2

## CAMPUS TOPICS

「聖マリアヘルスケアセンター」が開院…………… 3

同窓会の年次総会が開催されました…………… 4

正門通路路“NORTH GATE”供用開始／エコ・キャンパスの取組み

クリスマス～主・イエスキリストの生誕を祝って～…………… 5

召命のつどい～高い倫理観をもった看護専門職者の育成へ向けて～

学位授与式・修了式～平成26年度～…………… 6

高校・大学間のスムーズな教育連携への取組み

“大学院”修士課程、並びに専攻科“助産学専攻”課程のご案内…………… 7

客員教授シスター・カリスト・ロイ先生が来訪

領域紹介「国際看護学」…………… 8

図書館からのお知らせ

平成26年度／外部研究費等の採択状況について…………… 9

財務状況等の公開…………… 10

教務課・学生課からのお知らせ／マリア祭…………… 裏表紙



# 「日本の医療」と看護のこれから」

聖マリア学院の看護教育は、昭和48（1973）年に、聖マリア病院附属の高等看護学院としてスタートしました。その後の組織改編を経て、現在の聖マリア学院大学となり、今、41年目の歴史を歩んでいることとなります。建学の精神であります「カトリックの愛の精神」を胸に抱き、まさに地域の皆さま方の暖かいご支援により、学生とともに歩んできた歴史でもあります。このことについて、本誌面をお借りし改めて感謝申し上げます。

さて、私は日頃、日本の看護がおかれている状況について考えてみるがあります。本学の学生の皆さんを含め、看護職に従事する（している）関係者は、これからの日本の医療・保健・福祉、それらの共通要素としての看護を担う重要な役割をもつことになるだろう、と思っています。

我が国は、今まで国民皆保険など社会保障制度の充実に努めてきましたが、そのプロセスにおいて、現在の日本の医療のこれからの方向性、すなわち、今後の日本の最も重要な課題のひとつである社会保障制度の充実のために、実際の医療や介護などの制度をどのように変えていくべきか、膨らみ続ける医療費支出への抜本的対応策を含め、公的医療保険制度の改革が、今まさに進められています。

日本の医療の今後の方向性について、いくつかのポイントで考えてみると

- ① 超少子高齢・人口減少社会の出現
- ② 医療保険制度の維持を基本とすること
- ③（心臓病や糖尿病など）慢性疾患を中心とした対策がより必要となること
- ④ 限られた医療資源の再構築（給付と負担の適正化をいいます。これには、世界の先進諸国が悩んでいるような、保険料の負担や医療費の決め方などを適正に保つにはどうするのがよいか、の問題を孕んでいます）
- ⑤ 団塊世代が後期高齢者になり終える2025年問題などが挙げられています。



学長 矢野 正子

## profile

埼玉県生まれ。東京大学医学部衛生看護学科卒業。看護師、保健師。厚生省（現厚生労働省）健康政策局看護課長、東京大学医学部教授、静岡県立大学看護学部長・教授、同大学院看護学研究科長、藍野大学医療保健学部長を歴任し、平成20年より現職。

少子化、高齢化、そして人口減少社会の中で、看護の役割はこれらますます増していくことと考えられます。医療で働く人は現在250万人、その中で看護職は155万人、大学の数は全国で235校（且26年4月現在）となり、今後も増え続けることが予想され、我が国の医療を支えるために看護職は重要な役割を担っており、また期待も大きいと言えます。

このような趨勢下、看護とは、人間の自然治癒力を引き出し、生きる希望と力を与え、生涯にわたり、尊厳をもって輝く人生を送れるように人々を支援することであるといえるでしょう。

学生の皆さんは、聖マリアグループの整った保健、医療、福祉と学習環境の中で有意義な学生生活が送れますよう、日々、自ら努めていただき、何事にも、特に自分がやり通さなければならぬことには、勇気をもって、そして身も心も元気を失わずに、取り組んでいっていただきたいと思っています。

私たち教職員は、これからの日本の医療と看護の方向性を見定めながら、学生の皆さんの学びの向上と目標の達成のために、これからも、よりよい支援を惜しみません。

## 聖マリア学院大学の教育理念

聖マリア学院大学は、「カトリックの愛の精神」に基づく教育・研究を行って、豊かな人間性と深い教養を具え、高度の看護知識と技術に基づく科学的な看護実践能力を養い、広く人間社会の健康に寄与できる篤実有能な人材を育成することを目的としています。

## シリーズ⑬「大学に求められるもの」

# ”実力“ある看護職者を育むために

私は本学が看護師や保健師を養成する単科大学であることから、本学の基本理念であるカトリックの愛の精神を基盤にして、実力のある看護職を輩出することが使命（求められるもの）であると考えております。

私は本学に着任して4年が経とうとしています。その間、国家試験対策委員長の任に3年間当たりました。国家試験対策委員会は国家試験の合格に向けて学生達を支援する役割を担っています。この3年間の学生との関わりの中から感じたことは、4年生になって国家試験に向かつて本格的に学習を開始した時、どのように学習していけば良いのか解らないという学生達がかなりいること、解らなかつたら自ら調べるといふ姿勢が身につけている学生が少なくないと、受験するのは学生達であるにも関わらず教師の支援に多大な期待をし、どうにかなると考えていることです。教職員全員が学生支援に惜

しみない努力をしており、また国家試験対策委員会では毎年の年間計画を評価し次年度に活かしておりますが、学生個々に応じた個別的な関わり的重要性が年々増しているように感じられます。

大学時代は、自学自習できるように、どのように学べば良いのか、学習方法を身につけることが必要です。つまり、高等学校時代のように、教師が整理して板書したことをそのまま写し、それを覚えるという学習ではなく、大学卒業後も自分で探求できるように、自ら調べ学ぶことを身につけていく時であると思います。しかし本学の学生達を見ると、学習方法を身につけている学生が少なくように思います。また、学生間の学力差が大きいことも目立ちます。本学に入学したからには、看護職としての実力を十分につけて卒業を迎えてもらいたいと思います。その為には、4年生になってからでは遅すぎる

## 聖マリア学院大学の教育の特色

- 「人間の尊厳・生命を尊重する倫理・生命倫理教育」による倫理的判断能力／専門職としてのケアリング／ヒューマンケアの実践能力の育成
- シスター・カリスタ・ロイ博士提唱の「ロイ適応看護モデル」に基づく科学的思考と問題解決能力の育成
- 聖マリア病院とともに長年の国際保健医療協力に連携して実践している「国際看護学」の教育



濱野 香苗

## profile

看護師、看護学修士  
国立嬉野病院での臨床歴・教歴の後、佐賀医科大学、長崎大学での教歴を経て平成23年に本学看護学部並びに大学院看護学研究科の教授に就任。  
平成25年より看護学部長として、校務全般の統轄責任者。

聖マリア学院大学 看護学部・大学院看護学研究科 教授

看護学部長

濱野 香苗

と思います。1年生から、90分1コマの授業には1コマの予習、1コマの復習を行い、地道にコツコツと努力することが大切です。人の命に関わる職業として、カトリックの愛の精神を基盤にした、真に実力のある看護職に育つよう教職員一致して支援する所存です。



# 「聖マリアヘルスケアセンター」が開院

平成26年10月、「聖マリアヘルスケアセンター」が開院し、本学の臨床実習環境が更に充実することとなりました。

聖マリアヘルスケアセンターは、聖マリア病院の関連施設として、その基本理念を共有し、地域包括ケアの実践を設立目的に掲げ、入院による機能回復と社会復帰を目指す回復期リハビリ病棟・療養型病棟、疾病予防と健康増進のための人間ドック・内視鏡センター、また通院による維持透析を行

う透析センターの3部門から構成されています。

西鉄電車・試験場前駅に隣接し、アクセスの利便性も高く、広く地域の皆様の健康維持増進施設として親しまれる病院となるよう、より高品質のサービス提供を目指しています。

本学の新たな臨床実習施設として、研究教育における連携体制の強化を図っていくものです。



2F 透析センター



3F 内視鏡センター



## 同窓会の年次総会が開催されました

～OB、OG皆様の暖かいご支援に感謝いたします～

本学は、その看護教育の源泉である聖マリア高等看護学院の開設（昭和48年）以来、現在の4年制看護大学・聖マリア学院大学に至る、これまでの40有余年、同窓生（卒業生であるOB、OG）の皆様方からの、まさに物心両面に亘るご支援により支えられながら歩んで参りました。

本学の歴史とともに同窓会員も増加し、

毎年1回、同窓会総会が定例開催されております。本年度も久留米市内のホテルにおいて、役員の方々を中心に成功裏に催されたところです。同窓生の皆様におかれましては、引き続き後輩諸氏への叱咤激励と、変わらぬ暖かいご支援の程、どうぞよろしく申し上げます。

なお、同窓会の諸活動に関しては、本学へ

の様々なご支援を含め、卒業生の皆様の終身会費により運営されております。在学生の皆さんは、卒業後、これまで支えられてきた側から、後輩を支える側へととなります。卒業時に際しては、同窓会員として終身会費の納入方どうぞよろしく申し上げます。



## 正門通用路“NORTH GATE”供用開始

グラウンド北側において造成工事を進めておりました「正門通用路“NORTH GATE”」が竣工し、供用を開始しております。これまでの通用門（2号館東側）については、進入路が狭小であり幹線道路から奥まっていること等、学外からのアクセスに不便さがありましたが、今回の正門通用路の竣工により、北側の市道に面し、聖マリア学院大学の新たなランドマークとして広く開かれた玄関口が開通しました。



## エコ・キャンパスの取り組み ～限りある資源へのご理解とご協力を～

本学においては、環境に配慮した取り組みを行っておりますが、その一環である“エコ・キャンパス”推進事業については、文部科学省助成事業の認定を受けての年度毎計画として順次、太陽光パネルの設置（各校舎屋上）を進めてきました。天候の影響を受けますが、消費電力に換算すると、概ね大講義室4～5室分のエアコン稼働電力を供給している計算になります。また、年間を通して、特に夏季・冬季における消費電力量を抑制する管理装置（エコ・モニター）を設置

し、大学構内の消費電力軽減に努めています。未来への限りある資源です。省エネへの取り組みにご理解とご協力をお願いします。



太陽光パネル



エコ・モニター



## クリスマス

（主・イエスキリストの生誕を祝って）

クリスマスのお祝いは、聖マリア病院が、まだ結核病棟であった頃、その時から毎年開催され、現在、聖マリアグループ全体の歴史ある催事として受け継がれています。

本年度も、系属校である明光学園中学校・高等学校からクワイアチャイム部の皆さんを招いてのクリスマスコンサートに始まり、クリスマスミサ、そし

て最後に入院中の患者様へのキャンドルサービスを行いました。

キャンドルサービスでは、本学学生の皆さんが聖歌を歌いながら、キャンドルの明かりとともに静かに病棟を見舞いました。

患者様と、そのご家族にとつての、癒しの時間を提供できたことと思います。



## 召命のつどい

（高い倫理観をもった看護専門職者の育成へ向けて）

看護師養成校における従前の「戴帽式」について、本学の前身、聖マリア学院短期大学では「祝帽式」として永らく開催してきましたところ、この伝統を継承しつつ、カトリック大学の教育理念に基づく「召命のつどい」として執り行っています。本年度も、雪の聖母聖堂（聖マリア病院構内）において、久留米カトリック教会・森山信三神父の司式により看護学部1年生が式に臨みました。

本学は、その建学の精神を、カトリックの愛の精神、つまりは、主イエス・キリ



### 「召命のつどい」とは…

私たち一人ひとりが神から与えられた“いのち”を喜び合い、自らの内に秘められた使命に目覚め、世界の人々のために働く決意を新たにするとともに神の導きを願うためのつどいです。建学の精神「カトリックの愛の精神」に基づく行事として、雪の聖母聖堂（聖マリア病院内）で行われています。

## 学位授与式・修了式

（平成26年度）

平成27年3月7日、本学体育館において、平成26年度「学位授与式・修了式」が執り行われ、看護学部・第6期生、大学院看護学研究科・第4期生、並びに専攻科助産学専攻・第2期生、総勢113名の学生が、それぞれの将来へ向けた新しい一歩を踏み出しました。

式典では、森山信三神父（久留米カトリック教会）の司式による「みことばの祭儀」が厳かに執り行われ、これまでの学生生活における神様の慈しみと恵みに感謝を捧げるとともに、支え

となった家族、学友への感謝と、4月からの新しい歩みの上に祝福を祈りました。森山神父からの祝辞の中で、看護専門職者として患者様の心に寄り添い、患者様が心を開いてくれるような、人間性豊かな看護者となつて下さいとの言は、卒業生の胸に深く刻まれたことと思います。

学位記・修了証書の授与に際しては、矢野正子学長



写真は、田川高等学校、明光学園高等学校からの来学時。

## 高校・大学間のスムーズな教育連携への取り組み

高校生のキャリアデザインを支援しています

急速な情報化、国際化等の進展と相俟つて、多様な価値観が混在する現代社会にあつて、特に若い世代が自身の将来像を描き難い時代となつています。

このような背景からも、昨今、高校の教員と大学の教員とが有機的に連携して教育活動を展開するようない

わゆる「高大連携」の取り組みが広がっています。

本学においても、看護専門職を養成する大学機関として、保健医療福祉分野に特化したキャリアデザイン教育への取り組み（高校生の体験学習受入等）を行っております。



# 「大学院」修士課程、 並びに専攻科「助産学専攻」 課程のご案内

聖マリア学院大学においては、より専門的、実践的な教育課程として、「大学院看護学研究科」並びに「専攻科助産学専攻」を開設し、隣接する聖マリア病院（実習施設）の医師、看護師等との協働体制下、より高度の看護専門職者の養成を行っています。

学期間を計画的に設定する長期履修制度や、科目等履修制度等、柔軟なカリキュラムを準備して、特に臨床在職中（社会人）の皆さんをはじめ、看護学探求の志を持つ方々を広く歓迎いたします。

専門職としてのキャリアアップを目指す看護職の方々に支援し、お待ち申し上げます。

## 「大学院」看護学研究科 修士課程

### ○修士論文コース

1. 健康・療養支援看護学領域
2. MCH（周産期・母子）看護学領域
3. 統合看護学領域

### ○CNS（専門看護師）コース

1. 慢性看護 専門看護師コース
  2. 母性看護 専門看護師コース※
- ※九州圏域で唯一のコース／平成27年1月現在

### 専攻科「助産学専攻」

### ○助産師養成1年課程



## 領域紹介 「国際看護学」

聖マリア学院大学 看護学部 大学院看護学研究科 准教授 秦野 環

少し前まで国際看護といえば、主に開発途上国にかけての看護活動のことでした。しかし、グローバル化がすすんだ世界に身をおく我々にとって国際看護は、日々の看護の中に存在します。現在日本の人口の約1.6％が外国人の方々です。看護師、保健師、助産師として私たちが働く場に、外国人の方々がサービスを受けにくるのが当たり前なのです。

本学では国際状況の基礎を学ぶ講義（異文化理解、国際保健論、国際看護論）に加えて、フィールドスタディー

としてフィリピンやタイ、ラオスでの実習も行っております。今までのフィリピン実習では、多くの妊婦さんとの協力をいただき妊婦検診を体験させていただき、またほとんどの学生が出産に立会い「生命の誕生」という素晴らしいひと時に身をおかせていただてきました。

日本の学生生活だけでは決して体験できない多くの出会い、体験ができるフィールドスタディー、あなたも参加しませんか？



▲フィリピン実習でお世話になる修道女会でのひとこま。本学の学生が中心となって募金活動を行い、前列にならぶ4人を「就学支援プログラム」として応援している。



▲フィリピン大学看護学部学生の指導の下、妊婦検診を体験している本学学生（2014年）

## 図書館からのお知らせ

図書館では、学生のみなさんの学習支援の一環として、開館時間の延長や図書資料の充実等を図っています。看護学専門領域の見識を深めることは勿論のこと、豊かな人間性と深い教養を幅広く涵養するためにも図書館を積極的に利用いただき、実り多い学生生活に役立てて下さい。

### 【平成25年度年間貸出上位リスト】

	年間貸出 <b>ベスト1</b>	年間貸出 <b>ベスト2</b>
学部1年生	人体の構造と機能	PT・OT基礎から学ぶ解剖学ノート
学部2年生	病期・病態・重症度からみた疾患別看護過程+病態関連図	人体の構造と機能からみた病態生理ビジュアルマップ 呼吸器疾患
学部3年生	医療薬日本医薬品集 2012年版	ネルソン小児科学
学部4年生	クエスチョンバンク必修 2013年版	保健師・保健師をめざす学生のためのなぜ?どうして? 疫学・保健統計
専攻科助産	今日の助産	ウエルネスからみた母性看護過程+病態関連図
大学院生	異常値の出るメカニズム	SPSSで学ぶ医療系多変量データ解析

### 図書館概況（平成26年3月31日現在）

＊蔵書数:47,052冊（和書:42,967冊、洋書:4,085冊）  
 ＊雑誌所蔵種類数（電子ジャーナルを含む）:3,062種（和雑誌:1,712種、洋雑誌:1,350種）  
 ＊視聴覚資料所蔵数:1,823本（DVD519本、ビデオ1,268本、CD14本、CD-ROM22本）  
 ＊平成25年度図書受入冊数:1,257冊（和書:1,133冊、洋書:124冊）

### 電子書籍を導入しました!

『写真でわかる臨床看護技術:注射・検査に関する看護技術を中心に』  
 『写真でわかる臨床看護技術:呼吸・循環、創傷ケアに関する看護技術を中心に』  
 ※アクセス方法:図書館HPより、「本を探す」から「ebooklibrary」を選択します。演習室のパソコンでも利用できますので、実習の自己学習として、演習を行いながら画像で確認することが可能です。

### 電子ジャーナルを活用しましょう!

図書館やパソコン室などの学内のパソコンから、医学・看護系の雑誌を読むことができます。当館では、『医学中央雑誌Web版』、『メディカルオンライン』、『CINAHL』等のデータベースを導入しておりますので、和洋合せて約2,000冊近いタイトルの雑誌を読むことができます。  
 ※アクセス方法:図書館HPより「文献検索」から、使いたいデータベースを選択します。

### 国家試験問題集バックナンバーを貸出しています!

国家試験対策としてだけでなく、日々の自己学習のなかでも活用ができます。当館では、看護師、保健師、助産師の問題集を取り揃えています。



「ロイ適応看護モデル」に基づく科学的思考と問題解決能力の育成の実践を図り、建学の精神に基づいた看護専門職者の輩出を目指して参ります。

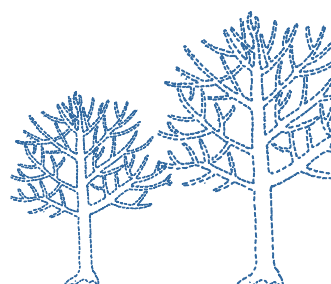
著名な看護理論のひとつであり、本学カリキュラムの主軸を構成する「ロイ適応看護モデル」、その提唱者、シスター・カリス・タロイ先生（本学客員教授）が、米BOSTON COLLEGEより来訪されました。

9/28～9/30の期間、本学に滞在され、大学院の講義や学生との交流会が行われました。本学生にとっては、ロイ適応看護モデルの最新の見解について直接に学び、実践ならびに教育研究における理解を深める貴重かつ有意義な時間となりました。

また、米国に本部を持つ（Roy Adaptation Association（RAA）の日本支部（RAA-J）主催によるカンファレンスも開催され、学内外から多数の看護関係者、医療従事者に参加いただきました。



客員教授  
シスター・カリス・タロイ先生が来訪





平成26年度 外部研究費等の採択状況について

本学では、教育への還元を前提とした各専門領域における学術研究の推進方策の一環として外部研究資金の獲得を奨励しているところですが、独立行政法人日本学術振興会を介した科学研究費助成事業は、人文・社会科学から自然科学まで全ての分野に亘り、基礎から応用までのあらゆる「学術研究」を発展させることを目的とする「競争

的研究資金」であり、独創的・先駆的な研究に対する助成を行うものです。  
また、民間企業等との共同研究を行う中で、本学での研究活動に対して企業、団体から様々な形で協力支援を受けています。  
平成26年度の外部研究費に関する採択状況については左記のとおりです。



平成26年度 科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金／科学研究費補助金) 等交付状況

科学研究費助成事業	研究代表者	新規採択者	事業名	採択者氏名	研究課題名
			基盤研究 (C)	日高 艶子	半側空間無視の代償行為の獲得を促す主意的役割を用いた看護介入の効果
			基盤研究 (C)	竹元 仁美	ワンストップ支援センターにおける「性暴力司法看護ケアモデル」と看護教育プログラム
			基盤研究 (C)	田中 千絵	医療が必要な障害児のよりよい地域生活支援のための「医療的ケア必要度スコア」の開発
		継続採択者	若手研究 (B)	渋谷 暁春	特別養護老人ホームで働く職員の手指衛生行動と認識に影響する要因の検討
			研究活動スタート支援	塩汲 望美	心リハを行う心不全患者に対する自己管理能力維持のための看護師による介入効果
			基盤研究 (B)	松原 まなみ	口唇口蓋裂児の口腔機能発達を保证する哺乳具の開発と療育支援プログラムの構築
			基盤研究 (C)	安藤 満代	がん患者に対するアートセラピーの効果とプログラム開発に関する研究
			基盤研究 (C)	秦野 環	複合的人道危機から逃れた難民を受け入れたことによって生じたケニア女性の健康問題
			基盤研究 (C)	小浜 さつき	自覚性低下の看護介入プログラムに関する研究ーゲームを活用した介入の効果ー
			基盤研究 (C)	濱野 香苗	地域在住高齢者のQOL充実へのインフォーマルサポートの活用に関する研究
			若手研究 (B)	石本 祥子	SSTを活用した看護学生のコミュニケーションスキルの発展に関する研究
			若手研究 (B)	秦 朝子	一連の看護行為における手指衛生のタイミングに関する研究
			基盤研究 (A)	日高 艶子	卒後1年目看護師の定着率向上を目的とした広域包括支援プログラムの開発研究 (福岡県立大学)
			基盤研究 (A)	石本 祥子	卒後1年目看護師の定着率向上を目的とした広域包括支援プログラムの開発研究 (福岡県立大学)
			基盤研究 (A)	小浜 さつき	卒後1年目看護師の定着率向上を目的とした広域包括支援プログラムの開発研究 (福岡県立大学)
			基盤研究 (A)	藤堂 省	体外誘導免疫制御性リンパ球を用いた細胞治療による免疫寛容誘導に関する研究 (北海道大学)
			基盤研究 (B)	日高 艶子	看護系大学における発達障害傾向学生に対するサポート・スペクトラム構築に関する研究 (防衛医科大学校)
			基盤研究 (B)	安藤 満代	看護系大学における発達障害傾向学生に対するサポート・スペクトラム構築に関する研究 (防衛医科大学校)
			基盤研究 (B)	谷 多江子	看護系大学における発達障害傾向学生に対するサポート・スペクトラム構築に関する研究 (防衛医科大学校)
			基盤研究 (B) 海外	秦野 環	長期に渡る戦乱・紛争による心的外傷の実態とその残存に関する調査研究 (山梨県立大学)
			基盤研究 (C)	日高 艶子	自覚性低下の看護介入プログラムに関する研究ーゲームを活用した介入の効果ー (聖マリア学院大学)
			基盤研究 (C)	竹元 仁美	DV・児童虐待・性暴力被害者に対する司法看護技術向上のための看護者教育モデル構築 (北海道科学大学)
			基盤研究 (C)	小浜 さつき	半側空間無視の代償行為の獲得を促す主意的役割を用いた看護介入の効果 (聖マリア学院大学)
			挑戦的萌芽研究	松原 まなみ	妊娠糖尿病女性への妊娠糖尿病認定助産師による産後継続支援に関する多施設共同研究 (自治医科大学)
			厚生労働省科学研究費補助金 (研究分担者)	井手 三郎	新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業 (新型インフルエンザ等新興・再興感染症研究事業)
			厚生労働省科学研究委託費 (研究代表者)	藤堂 省	制御性T細胞治療による臨床肝移植における免疫寛容誘導法の多施設共同研究 (難治性疾患等実用化研究事業)
			厚生労働省科学研究委託費 (研究分担者)	滝 麻衣	HTLV-1 疫学研究及び検査法の標準化に関する研究 (新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業)
			長寿医療研究開発費の研究事業 (研究分担者)	鷲尾 昌一	Zarit 介護負担尺度日本版 (J-ZBI) による介護負担評価・標準化による有用性の向上
			民間企業との共同研究	松原 まなみ	母乳育児を支える用品開発
			日本助産学会研究助成 奨励研究費	桃井 雅子	不妊治療後の妊娠婦に関わる看護師・助産師のための教育プログラムの評価
			公益財団法人 木村看護教育振興財団	中尾 友美	慢性疾患看護CNSの実践知を活用した 早期糖尿病性腎症患者への看護介入プログラムの検討
			公益財団法人ファイザーヘルス リサーチ振興財団	滝 麻衣	アジアにおける麻酔管理看護師の国際資格認定制度構築と基盤整備

財務状況等の公開 (平成25年度決算の概要)



法令に基づき、大学等の設置者である学校法人は、当該事業年度における決算関係書類及び事業報告書を作成し、これを広く公開することが求められています。本学においては、理事会・評議員会での承認を経て、財務状況を並びに事業報告に関する情報公開を、順次、ホームページに掲載することとしております。本誌では、誌面の都合上、財務状況の概要を掲出します。

学校法人会計について

学校法人は、公益性をもった教育研究の実践主体として、学校の経営を行うことを、その目的としておりますので、一般企業のように営利を活動目的とする法人ではありません。よって、人材育成を含めた教育研究活動の成果を、社会に還元させる義務を負っています。  
学校の経営に伴う経理処理については、学校法人会計基準 (文部科学省令) により定められており、主要な財務計算書類として「資金収支計算書」「消費収支計算書」及び「貸借対照表」の作成が義務付けられています。

- 資金収支計算書  
毎会計年度 (4月1日～翌年3月31日) の諸活動に対する全ての収入及び支出の内容を明らかにし、当該年度における支払資金 (現金及び預貯金) の順末を表すものです。  
<企業会計の「キャッシュ・フロー計算書」に類似したものです。>
- 消費収支計算書  
当該会計年度の消費収入及び支出の内容と均衡状態を明らかにし、固定資産の経過的価値の減少 (減価償却額) や、将来的な負債を考慮した計算書で、学校法人の財政的な経営状況を表すものです。  
<企業会計の「損益計算書 (P/L)」に相当するものです。>
- 貸借対照表  
期末 (会計年度末) における総資産及び総資金 (負債、基本金、収支差額) の価額とその内訳を明らかにし、財政状態の健全性を表すものです。  
<企業会計の「貸借対照表 (B/S)」に相当するものです。>

「貸借対照表」の概要

貸借対照表				平成26年3月31日現在 (単位:千円)
科 目	本年度末	前年度末	増 減	
資産の部				
固定資産	4,729,298	4,456,287	273,010	
流動資産	1,438,950	1,468,651	△ 29,701	
資産の部合計	6,168,249	5,924,939	243,309	
負債の部				
固定負債	174,970	172,513	2,457	
流動負債	183,267	183,865	△ 597	
負債の部合計	358,238	356,378	1,860	
基本金の部				
第1号基本金	5,577,528	5,153,145	424,382	
第2号基本金	705,310	855,310	△ 150,000	
第4号基本金	63,000	63,000	0	
基本金の部合計	6,345,838	6,071,455	274,382	
消費収支差額の部				
翌年度繰越消費支出超過額	△ 535,827	△ 504,894	△ 32,932	
消費収支差額の部合計	△ 535,827	△ 502,894	△ 32,932	
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計				
	6,168,249	5,924,939	243,309	



「資金収支計算書」の概要

資金収支計算書				(単位:千円)
資金収入の部		資金支出の部		
科 目	25年度決算額	科 目	25年度決算額	
学生納付金収入	801,216	人件費支出	526,560	
手数料収入	15,421	教育研究経費支出	160,683	
寄付金収入	30,800	管理経費支出	70,064	
補助金収入	235,902	施設関係支出	397,930	
資産運用収入	4,042	設備関係支出	28,397	
事業収入	8,136	資産運用支出	108,600	
雑収入	17,614	その他の支出	28,936	
前受金収入	142,912	予備費	-----	
その他の収入	185,261	資金支出調整勘定	△ 28,307	
資金収入調整勘定	△ 271,412	次年度繰越支払資金	1,322,466	
前年度繰越支払資金	1,445,438			
収入合計	2,615,332	支出合計	2,615,332	

「消費収支計算書」の概要

消費収支計算書				(単位:千円)
消費収入の部		消費支出の部		
科 目	25年度決算額	科 目	25年度決算額	
学生納付金	801,216	人件費	529,017	
手数料	15,421	教育研究経費	260,101	
寄付金	32,770	管理経費	89,001	
補助金	235,902	資産処分差額	0	
資産運用収入	4,042	予備費	-----	
事業収入	8,136			
雑収入	22,081	支出合計	878,121	
帰属収入合計	1,119,571	当年度消費収入超過額	△ 32,932	
基本金組入額合計	△ 274,382	前年度繰越消費支出超過額	△ 502,894	
収入合計	845,188	翌年度繰越消費支出超過額	△ 535,827	

主な財務比率の経過年度比較表

比 率	算式 (×100)	平成22年度 (決算)	平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算)
人 件 費 比 率	$\frac{\text{人件費}}{\text{帰属収入}}$	46.6%	53.0%	54.9%	47.3%
教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{帰属収入}}$	27.4%	28.3%	27.2%	23.2%
管 理 経 費 比 率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{帰属収入}}$	8.9%	9.1%	9.3%	7.9%
借入金等利息比率	$\frac{\text{借入金等利息}}{\text{帰属収入}}$	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%
帰属収支差額比率	$\frac{\text{帰属収入}-\text{消費支出}}{\text{帰属収入}}$	17.0%	9.5%	8.4%	21.6%
消費収支比率	$\frac{\text{消費支出}}{\text{消費収入}}$	105.4%	114.1%	93.5%	103.9%
学生納付金比率	$\frac{\text{学生納付金}}{\text{帰属収入}}$	74.8%	81.3%	79.8%	71.6%
寄 付 金 比 率	$\frac{\text{寄付金}}{\text{帰属収入}}$	0.1%	0.6%	1.8%	2.9%
補 助 金 比 率	$\frac{\text{補助金}}{\text{帰属収入}}$	20.6%	12.1%	12.7%	21.1%
基本金組入比率	$\frac{\text{基本金組入額}}{\text{帰属収入}}$	21.3%	20.7%	2.1%	24.5%



在学生、並びにご家族のみなさまへ

◎進級・留年、成績状況、履修状況等の通知について

在学生並びにご家族の方へ対し、所定の時期において、進級・留年の決定や、成績状況、科目履修状況等の通知をお届けしています。学部等の課程別に対象や時期は異なっていますが、ご家庭におかれましても、日頃より学校生活に関するお話の機会を持っておき、側面からの学修支援に、ご理解とご協力をお願いいたします。

◎カリキュラムの履修要件にご留意下さい

授業科目の履修に際しては、特に科目登録時における手続き漏れ等が無いよう、学生便覧を参照の上、卒業までに必要となる授業科目(必須科目・選択科目)、単位数について理解した上で、各自の責任において計画的に履修しましょう。

- ・授業科目に関しては、各々の開講年次や、1年間に登録できる科目単位数の上限が定められています。
- ・上級学年に進級するためや、実習科目を受講するためには、予め設定されている所定科目を事前に履修していることが要件となります。

◎「保健師」国家試験(選抜制)の受験希望者の単位履修について

～対象:看護学部“2012年度以降の入学生”～

保健師国家試験の受験資格を得るためには、卒業に必要な単位数に加え、3年次以降に開講される“地域看護学”に関する所定の授業科目(合計13単位数)を修得する必要があります。履修者は学内選考により決定することとし、履修申込み手続きは、2年次後期に行う予定です。保健師国家試験を受験希望の方は、手続き漏れが無いよう、特にご留意下さい。



学院祭が開催されました ～聖マリア学院大学“マリア祭”開催報告～

本年度も11月に恒例の学院祭が開催されました。

実行委員会を中心として学生、教職員の参加型イベントとして、また地域住民の皆様にも多数ご来場いただき、盛会のうちに開催できましたこと、関係各位に御礼申し上げます。

各学科やサークルによる日頃の学修・活動成果の発表や公開講座等が催され、メインステージでは趣向を凝らした各種企画が披露され、また、構内には模擬店が立ち並び、ご来場の皆さま、

それぞれに楽しんでいただけたものと思います。

本年度の開催テーマ「はじける、マリアンヌ」のとおり、学生諸君にとっては、自己表現の場のひとつとして、まさに笑顔がはじける学院祭になったようです。

長年に亘り開催準備を進めてきた実行委員の皆さん、大変お疲れさまでした。



St. Mary's  
College  
聖マリア学院大学

2015年3月発行  
聖マリア学院大学キャンパスレター[マドンナ]  
発行/聖マリア学院大学  
〒830-8558 福岡県久留米市津福本町422  
TEL.0942(35)7271 FAX.0942(34)9125

※本誌掲載の写真・図版・記事などの無断使用・転載・複製を禁じます。

れている。(K)

▼今年も卒業生を送り出し、新入生を迎え入れる季節が巡ってきた。カトリック教育を基調とする本学としては、高い倫理観、道徳観をもった看護専門職者の養成を目指して、日々の学生指導を行っている。卒業生は本学の教育理念を理解して果立ってくれただろうか、新入生はこれからの学生生活の中で人間性豊かに成長してくれるだろうか。ゆるぎないカトリック理念に基づく、我々教職員の確固たる教育観が問われている。(K)

▼江戸幕府の禁教令下、250年以上(一)に亘り、ひそかに守ってきたキリスト教信仰を、長崎の信徒がフランス人神父に告白した「信徒発見」から、今年(2015年)3月17日で150年を迎えた。聖マリア病院内「雪の聖母聖堂」でも記念ミサが行われ、厳しい迫害の中で信仰を守り、つないできた先人に思いを馳せ、祈りが捧げられた。

▼江戸時代末期の1865年3月17日、大浦天主堂にキリシタン十数人が訪れ、フランスから来たプチジャン神父に対し「ブレラノムネ アナタノムネ オナジ」(私たちの信仰は、あなたと同じ)と、信仰を告白したとされる。キリスト教弾圧下、表向きは仏教徒を装って信仰を守り続けた事実は、「宗教史上の奇跡」とも言われた。